太白倫理独自発行誌「企業に倫理を」「職場に心を」「家庭に愛を」日本創生・目指せ10万社

仙台太白倫理法人会

Informational magazine

平成29年8月
太白だより vol.2

秋保温泉ホテルニュー水戸屋での移動MS開催

・20周年に向けキックオフ（色川講師を囲んで交流会）

・今年度最後の役員会（新年度に向けての熱き想い）

・入会者募集

・モーニングセミナー開催案内

発行／　広報委員会
監修／　仙台太白倫理法人会
表紙背景PHOTO　福島県猪苗代湖（夕日）
撮影　広報委員長　五十嵐 敏信

■ 今年度最後の役員会 ～新年度の普及拡充に向け熱き想い～

◆互いの健勝を願って五十嵐相談役御発声のもと乾杯！

◆新役員のみなさんと天間会長を加え記念撮影

◆ケガで御無沙汰してた菊池由樹さんも久しぶりに顔を見せてくれました☆

今年度最後の役員会が8月23日、長町の「そば処　おおわ田」にて、暑気払い（交流会）を兼ねて開催されました。

このうち、今年度目標に掲げていたモーニングセミナー参加者数増強に向けての取り組みは、年度初めから比較して上昇傾向にありましたが、年度最後の3ヵ月に関しては、横ばいの推移となり、課題が残る結果となりました。

また、当初目的としていた150社達成については、一人ひとりの活躍が光る結果となり、来期に向けて大きな自信につながる結果を残すことができました。

今回の役員会には、来期、役員に加わる6名の会員も参加し、若さあふれるエネルギーを発揮で当会を盛り上げて欲しいと、高い期待が寄せられていました。

役員会終了後の交流会では、1年間の活動をねぎらうなどして、杯が交わされました。また、新役員からは「分からないことが多いが、来期、役員の一人として会の発展に貢献したい」などの決意も頂戴し、一人ひとりから来期の目標に向け、堅い決意が話されました。

最後に、会員の皆様には、新年度も太白倫理法人会の活動に変わらぬ深いご理解とご協力を賜ると同時に、お知り合いの方などに、ぜひ、倫理の良さや魅力などをお声掛けいただくなど、身近で会員となっていただける方を、ぜひ、ご紹介いただければ嬉しく存じます。

みんなが一丸となり、3年後に迎える太白倫理法人会20周年に向け、多くの人にご入会いただき、会を発展・繁栄に貢献してまいりましょう。

太白倫理法人会 入会者募集中！

倫理を学ぶことで貴社に新しい可能性が広がります。
さあ、あなたも倫理経営を学んでみませんか！

【会員の勧め】
- 全国約600ヶ所モーニングセミナーに参加できます
- 毎月30冊非売品「職場の教養」を進呈
- 異業種の経営者との繋がり、能力向上と学びを得る
- 会社経営に自信と実践の意識を見出す事が出来る
- 大きく強い志を持った仲間が見つかります

【入会金】月々 10,000円／別途実費

仙台太白倫理法人会　毎週火曜日モーニングセミナー開催

会場／仙台市太白区「茂庭荘」　TEL:022-245-5141(代表) FAX:022-245-9930

仙台太白倫理法人会事務局
TEL022-217-0057　FAX022-217-0115

当単会の詳しい行事予定・活動内容については下記よりアクセス
（公式ホームページURL）
http://www.taihaku-rinri.com/
太白倫理　検索

■ 20周年に向けてキックオフ ～世界を夢見る子どもたちのために～

キックオフとして題し、仙台太白倫理法人会の20周年に向けてスタートとなる講演会が、秋保温泉ホテルニュー水戸屋にて、7月31日（月）に開催されました。

講師に仙台はせくら倫理法人会 会員の 色川 冬馬 様をお迎えし、「失敗しても挑戦し続ける勇気」をテーマに講話をいただき、単身渡米して米大リーグを目指し、独立リーグでプレイした経験やこれからの挑戦についてお話いただきました。

県内唯一の体育大として知られる仙台大学出身で、プロ野球選手やメジャーリーガーになりたいという夢を持ち入学するが、思ったような活動ができない日々が続き、周囲の人からもプロ野球選手になるなど非現実的であると厳しい指摘も受けました。色川様は社会人野球の経験もなければ、甲子園出場の経験も無いということですが、トップアスリートになる以外にも、日本の野球の選択肢や可能性を広げることはできると考え、野球を通じて色々な事を夢見て挑戦する子どもたちに、世界につながるきっかけづくりなどに励みたいと話されました。

力強い講話をいただき、企業も夢や目標を持って前進することの大切さを、改めて感じることができました。

色川氏は現在、 毎週木曜日23時30分～FM太白ラジオ（78.9Hz）「冬馬のベースボール」にも出演中。

色川氏を囲んで交流会

貴重な講話をいただいたのちに、色川様と参加した人たちで交流会を開催しました。

乾杯後、歓談や情報交換をおこないながら、楽しいひと時を過ごしました。

途中、一人ひとりから講話についての感想や、中には万人幸福の栞について、倫理法人会に入会したからこそ分かったことや、倫理の良さなどが話されました。

また、色川氏から天間会長にラテンアメリカ選手権の集合写真が贈られるなど、交流会は大いに盛り上がりを見せました。

一方、多くの参加者らは翌日のモーニングセミナーに備え、ホテニュー水戸屋へ宿泊し、温泉などを楽しみましたが、二次会ではカラオケに行く人もいるなど、パワフルな一面も見ることもできました。

■ 移動モーニングセミナー ～また来るよ、その一言のために～

仙台市秋保のホテルニュー水戸屋にて、8月1日（火）、特別移動モーニングセミナーが開催され、前取締役総支配人の小林 七朗 様より「また来るよ、その一言を聞きたくてこの道五十有余年」をテーマに講話が行われました。

小林様は名取市の出身の当会会員でもあり、東北学院大学文経学部経済学科を卒業後、水戸屋旅館に入社し、以来五十有余年に渡ってこの道一筋に会社の発展に寄与されました。

ホテルニュー水戸屋は、1630年頃の創業で、小林様が就職した当時、従業員5人で営業を行っていましたが、火災で建物が全焼するなど、様々な苦難を乗り越え、現在を迎えております。

ホテルサービスには惰性があってはならない、小林様はそう強調し、惰性で仕事をすると進歩・発展しなくなると述べる。「ホテルは安全性・清潔性・快適性が最重要ポイントであり、商品は施設建物・料理・人的サービスが折り重なって、お客様に喜びを感じていただくことができるのだと。男性の半分、女性の30％がリピーターとなり、その理由はサービスが良かった・料金がリーズナブルだったなど、お客様の意見は様々です。気遣いや心づかいが出来ないと最高のサービスは提供できない。そして、お客様が当館をお選びいただいた理由や目的を知ることで、初めて良いサービスが提供できる」と話されました。

「人的サービスでは、お客様の優越感を刺激することや、女性なら服装を褒める・子どもを褒めるなど。次に、お客様の名前を呼んで御挨拶することで、ただ挨拶をする以上に効果的な印象を与えることができる」と経験から学びを知ることができました。

どの業種においても人的サービスが大切であると言われる昨今、参加した人たちは小林様の講話の中から、仕事に最も大切なことを、改めて感じることができた貴重な時間をいただきました。

水戸屋開発（株） 前取締役総支配人 小林 七郎 様

約30名超の会員・ゲストが参加する

創業当時の水戸屋旅館の写真が披露される

朝食会で 元気補充・意見交換

モーニングセミナー終了後、同ホテルにおいてバイキング形式の朝食を楽しみました。

参加した人たちは普段とは違ったモーニングセミナーを満喫しながら意見交換を行うなど、早朝からたくさんの元気をいただくことができました。